

【いっしょにあそぼう】の展開

過程	児童の活動	主な発問と指示()や児童の反応・行動()	指導上の留意点
導入	1 あわせアドジャン	<p>いまから「あわせアドジャン」と言うものをします。じゃんけんゲームの1つです。4人グループで行う、グループの気もちを合わせるためのじゃんけんです。グー、人差し指、チョキ、3本指、4本指、パー、の6種類でじゃんけんします。</p> <p>ルールは2つあります。1つ目は、必ずグループ全員で声を合わせて「アドジャン」と言います。2つ目は同じものを続けて出してはいけない、ということです。最初にグーを出したら、続けてまたグーを出してはいけません。(次の次には出してもよい。2回続けない。)1分間に、何回合わせるができるでしょう?</p> <p>はい、そこまで。1回でも全員がそろったグループはありますか?(拍手)4人中3人が合ったところは?...(拍手)</p>	
インストラクション	2 本時の学習を知る	<p>前の時間に、お友達のさそい方の勉強をしましたね。覚えていますか?「なかまに入れて」といった後、「いいよ」とか「おいでよ」といわれたらどんな気持ちだったですか?</p> <p>うれしかった。 明るい気持ちになった</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の体験や実際の体験から考えさせる。
モデリング	3 本時の学習を知る (友だちの誘い方)	<p>でも中には、「仲間に入れて」という言葉を言うときにとても勇気がある人もいます。「いれて」と言いたいのになかなか言えなかったことはありませんか?</p> <p>今日は、1人での友達を仲間に誘うための誘い方を学習します。</p> <p>もし、自分がひとりだったら、どのようにしてさそってほしいですか?</p> <p>いっしょに遊ぼうと言ってほしい。 やさしくさそってほしい。</p> <p>友達を誘うときは、言葉だけでなく実は体の使い方も大切です。</p> <p>まず 相手に近づきます。相手が自分の近くによって来てくれるとうれしいですね。</p> <p>次に 相手をきちんと見るです。笑顔でこちらを見て話しかけてくれるとそれだけで明るくなります。いくら、優しい言葉をかけられても、そっぽ向いていては、心から言っているとは思えませんよね。</p> <p>次は、聞こえるように言うです。せつかく誘っても聞こえなければ意味がありません。元気に明るい声でさそってもらえると、「自分のことを心からさそってくれているんだな...」という気になります。</p> <p>最後は 笑顔で言うです。笑顔で誘ってもらえると、嬉しくなって仲間に入るときの緊張もなくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 4つのポイントを書いた短冊を用意しておく
リハーサル			

じゃあ、だれか先生のお手伝いをしてくれませんか？【子供が決まったら】先生が　さんを「友達の誘い方」に注意して誘ってみます。 やってみる交代

では「友達の誘い方」を使ってゲームをしましょう。まず、2つに分かれます。各チーム一人ずつ順に真ん中に走り、わりばしを一本引きます。そこにはクラスの名前が書いてあります。もし同じチームの名前を引いてしまった人は、残念だけどお返しを戻して自分のチームに急いで帰り次の人にタッチします。

相手チームの名前を引いたときは、その人に近寄り「いっしょにあそぼう！」と声をかけます。かけられた人は「　！」といって手をつなぎ相手チームと一緒に走っていきます。なんと云えば相手も喜んでくれるか考えてみましょうね。そして次の人にタッチします。連れてこられた人は、並んでいる全員とハイタッチして後ろにつきます。

誘うときは、「友達の誘い方」を守ることにしましょう。時間内に多くの人を集められたチームが勝ちです。それでは、分かれて走る順番を決めてください。

一番はじめに誘われた　さんインタビューします。誘われたときはそんな気持ちでしたか？

うれしかった…

最後に誘われた　さん。待っている間どんな気持ちでしたか？

不安だった…でも誘われたときはホッとして嬉しかった…

友だちに誘われるというのは、嬉しいものですね。また、さそったお友達が元気に仲間に入ってくれると誘ったほうも嬉しくなりますね。今日の学習を通して感じたことを振り返りカードに書いてみましょう。

- ・ できれば、多目的ホールのような広めの部屋で行う方がよい。

- ・ 茶筒のようなものに、クラス全員の名前を書いたわりばしを両チームの間に置く

- ・ 相手チームの名前を引いたときは元に戻さない

- ・ 仲間に入るときの返事をうまくいえない子のためにいくつかのアドバイスカードを準備しておく

- ・ 友達が来たときには、仲間が増えることを喜ぶ声かけをするように促す

- ・ 必ずはしがなくなるまで行なう。

- ・ お友達のさそい方、返事の仕方を書いた紙を教室掲示する。